



平成26年6月4日

国土交通省 中部地方整備局 清水港湾事務所

## 清水港物流効率化の整備効果実証！ ～新興津ふ頭第2号岸壁整備後1年の効果を検証～

### 1. 概要

清水港新興津ふ頭で第2号岸壁が供用して1年が経過し、利用企業へのヒアリング等により整備効果を分析したところ、利用船舶の渋滞解消、埠頭内コンテナ荷役効率向上などで、整備前と比べ年間約4千万円のコスト削減、コンテナ積み替え実績が1.2倍となるなどの整備効果が確認されました。

### 2. 清水港新興津ふ頭第2号岸壁供用後1年の整備効果

#### 1. 利用船舶の渋滞緩和で年間約4千万円のコスト削減

昨年5月に2号岸壁が完成し延長700mの岸壁となったことで、大型コンテナ船の2隻同時利用が可能となり、供用前に発生していた1回程度／週のコンテナ船の利用待ちがゼロになり、年間約4千万円のコスト削減となります。

#### 2. 清水港全体のコンテナ取扱能力が約36%向上

2号岸壁の供用により港内のコンテナ取扱いふ頭の混雑緩和など利用状況が効率化した結果、コンテナ取扱能力が全体で約36%向上しました。

#### 3. 清水港におけるコンテナ積み替え実績が1.2倍に増加

2隻同時利用が可能になったことで、これまでシンガポール港などで行われていた北米・欧州航路の大型コンテナ船からアジア近海航路や国内航路の中・小型コンテナ船への積み替え輸送を清水港の同じふ頭内で行う事が可能になったため、清水港でのコンテナ積み替え貨物量実績が整備前の約1.2倍に増加しました。

3. 配付資料

別添「清水港新興津コンテナターミナル2号岸壁供用後1年の整備効果」

4. 配布先： 中部地方整備局記者クラブ、静岡県政記者クラブ、静岡市政記者室、  
港湾空港タイムス、港湾新聞、日本海事新聞、海事プレス

5. 問合せ先： 国土交通省 中部地方整備局 清水港湾事務所 企画調整課長 <sup>のむら</sup>野村  
電話：054-352-4148 FAX：054-353-3072

6. 参考

(1) 事業の概要

事業	施設	数量	進捗状況
国整備	岸壁(耐震)	水深15m、延長350m	H25.5 供用済み
	泊地	水深15m、面積11.4ha	H25.5 供用済み
	防波堤	延長310m	H27 年度完了予定
県整備	コンテナヤード(CY)	面積13.0ha	整備中 (H26.4 3レーン分供用済み)
	臨港道路	延長300m	整備中
	荷役機械(免震)	3基	H25.5 2基供用済み

(2) 事業の効果

- 新興津コンテナターミナルに大型船2隻が同時着岸することが可能となり、効率的な荷役を実現することで、産業立地環境の改善を通じて国際競争力強化を図り、静岡県・日本経済の発展に寄与します。



# 清水港新興津コンテナターミナル 2号岸壁供用後1年の整備効果

平成26年6月4日

国土交通省中部地方整備局  
清水港湾事務所

# 事業の概要



## 新興津地区国際海上コンテナターミナル整備事業

事業	施設	数量
国整備	岸壁(耐震)	水深15m、延長350m
	泊地	水深15m、面積11.4ha
	防波堤	延長310m
県整備	ふ頭用地(コンテナヤード)	面積13.0ha
	臨港道路	延長300m
	荷役機械(免震)	3基【2基供用済み】



新興津コンテナターミナル(以下、新興津CT)の2号岸壁は欧州や北米をつなぐ大型コンテナ船に対応した施設であり、産業立地環境の改善を通じて国際競争力の強化を図り、静岡県・日本経済の発展に寄与するものです。

平成26年1月撮影



# 事業の効果①（岸壁利用待ちの解消）

- 2号岸壁の供用前は、袖師コンテナターミナル（以下、袖師CT）が混雑し、船の岸壁利用待ちが発生。
- 2号岸壁の供用後は、袖師CTの混雑が緩和し、船の岸壁利用待ちが解消。



## 新興津2号岸壁の整備効果

袖師CTが混雑することにより、小型コンテナ船が週に1回程度の頻度で2~3時間の岸壁利用待ちをしていた。



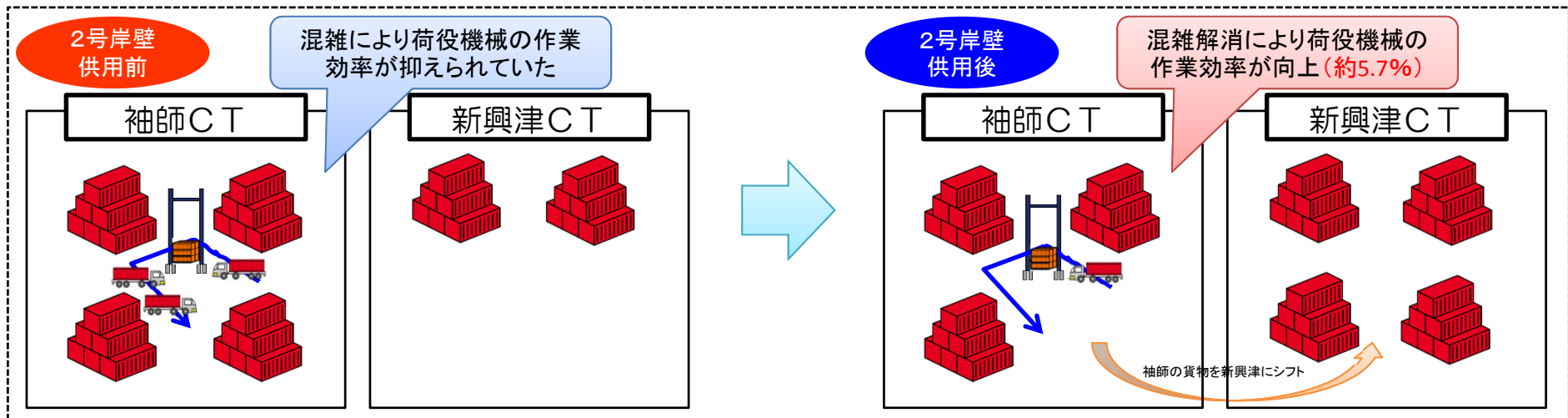
袖師CTの混雑が解消され、岸壁利用待ちが発生しなくなった。

**年間約104時間  
(貨幣換算で約4,000万円)  
の岸壁利用待ちが解消!**

※2時間/週(沖待ち時間) × 52週/年 = 104時間/年

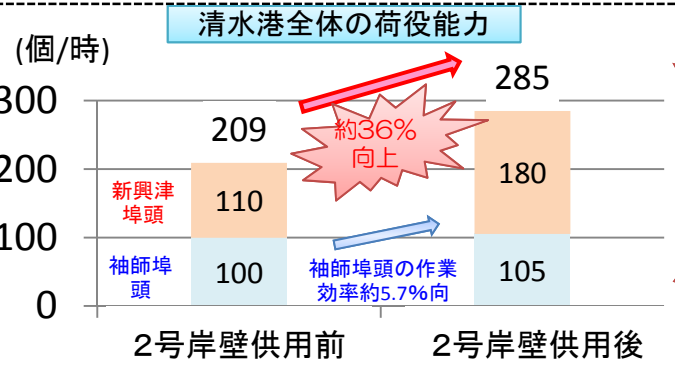
# 事業の効果②（作業効率の向上）

- 2号岸壁の供用前は、袖師CTの混雑により、荷役機械の作業効率が低下。
- 2号岸壁の供用後は、袖師CTの混雑が解消し、荷役機械の作業効率が約5%向上するとともに、新岸壁供用（荷役機械も増設）により、清水港全体の荷役能力約36%向上した



新興津CT 2号岸壁の整備効果

新興津CTに接岸できる船が増加し、袖師CTで取り扱っていた貨物を新興津CTで扱うことにより袖師CTの混雑が解消



清水港全体の荷役能力が約36%向上!

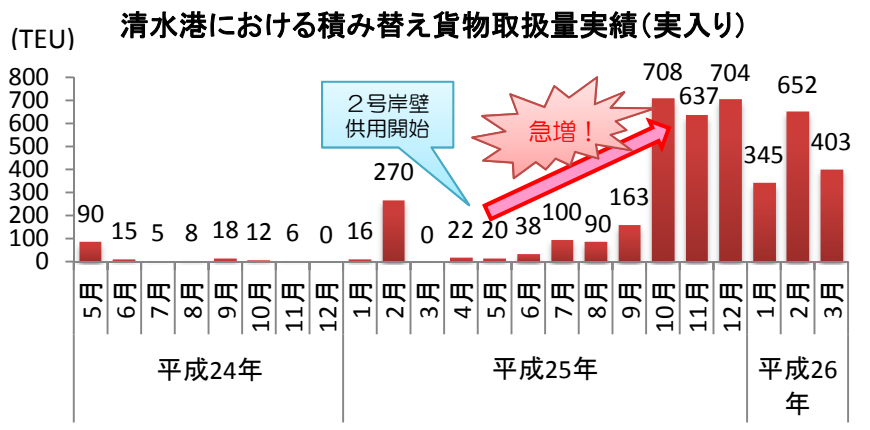
※ 清水港全体における1時間当りの月別平均コンテナ荷役個数の最大値を2号岸壁供用前後で比較(平成25年1月～平成26年3月)

# 事業の効果③（積み替え貨物の利便性向上）

- 2号岸壁の供用前は、積み替え貨物を扱う際、公道を通行する心頭間輸送（横持輸送）のためにコストと時間がかかっていた。
- 2号岸壁の供用後は、新興津CTでコンテナ船の2隻同時着岸が可能となることで、積み替え作業の利便性が向上し積み替え取扱量が急増した。



※輸送距離はgooglemapにより計測



※TEU: 20フィートコンテナの大きさに換算した容積

清水港における積み替え貨物の年間取扱量が約12倍に増加!

※「平成24年6月～平成25年5月」及び「平成25年6月～平成26年3月」を年換算(×12/10)で比較